

2012年10月24日

株式会社 日立ソリューションズ
レッドハット株式会社

日立ソリューションズ、レッドハット オープンソースソフトウェア普及のための技術者育成で 戦略的提携

～レッドハットと連携し JBoss の技術者を 1,000 名育成～

株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長 林 雅博、以下日立ソリューションズ）とレッドハット株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：廣川裕司、以下レッドハット）は、オープンソースソフトウェア（以下、OSS）の普及に向けて提携しました。日立ソリューションズは技術者育成施策の一環として、レッドハットと連携し、OSS のアプリケーションサーバー「JBoss（ジェーボス）」の技術者を 2015 年度までに 1,000 名育成していきます。

近年の企業システムにおいては、クラウドコンピューティングやビッグデータなどの新分野から基幹系システムに至るまで OSS の活用が加速しています。この背景には、従来 OSS の利点として考えられていた「コスト削減」「グローバルスタンダード」の効果に加え、OSS 特有の「進化のスピード」や「革新性」、「アジア圏への展開のし易さ」が企業の情報システム部門において認知されてきました。このような取り組みの変化により、システムインテグレーション企業では OSS を柔軟に活用したソリューション提案力の強化と OSS 関連のシステム構築ができる体制づくりが急務となっています。また、企業システムのコアな部分であるアプリケーションサーバーも OSS に置き換える動きがあり、OSS のアプリケーションサーバーである「JBoss」による案件が増えています。

そこで、日立ソリューションズは、JBoss を含む OSS を活用したソリューションの提案やシステム構築ができる人材の育成で戦略的な提携を開始しました。本提携を通じて、両社は以下のサービス提供を推進していきます。

- レッドハットは、JBoss Enterprise Middleware 製品の開発者向けサポート、および開発者の早期育成トレーニング、システム提案や設計に関わるプロフェッショナルサービスを提供します。
- 日立ソリューションズは、2012 年 11 月より早期に開発者の育成を図るだけでなく、JBoss 製品を活用したアプリケーションのシステム提案、設計/構築ができる体制を強化します。2015 年度までに、レッドハットが認定する「JBoss 認定アプリケーション管理者（JBCAA）」を含む、JBoss 製品でシステム提案、設計/構築ができる技術者を 1,000 名育成します。大幅に増強した技術者により、金融・公共・産業などの分野で OSS を活用した SI 案件の受注拡大、および製品やサービスの構築を推進します。

日立ソリューションズは、既にレッドハットが提供する JBoss プレミアビジネスパートナーに参加しており、JBoss 製品の提供だけでなく JBoss 製品のサポートを含む OSS のサポートや SI などワンストップサービスをお客様に提供しています。一方で、レッドハットは、クラウド対応として軽量化・高速化を実現した Java EE6 に完全に対応した JBoss Enterprise Application Platform 6 をはじめとし、SOA Platform や BRMS Platform などの業務プロセスを効率的に構築するプラットフォームを提供することで、目まぐるしく変化するビジネスに対応できる業務システム構築の事例を拡大しています。

今回の日立ソリューションズとレッドハットの提携は、日立ソリューションズが提供するソリューションに JBoss を活用することで、より「グローバル」「進化のスピード」や「革新性」に対応したソリューションを提供できるようになります。

●株式会社日立ソリューションズについて

日立ソリューションズは、お客様の業務ライフサイクル全般にわたり、豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する『ハイブリッドインテグレーション』を実現します。日本全国に拠点を構え、海外では中国や米国、欧州のグループ会社を核としてワールドワイドにお客様にとって価値の高い製品・サービスを提供しています。

●Red Hat, Inc.について

オープンソースソリューションのプロバイダとして世界をリードし、S&P500 社に名前を連ねる Red Hat は、米国ノースカロライナ州ラーレーに本社を置き、世界 70ヶ所以上に事業所を展開しています。Red Hat は、オペレーティング システム プラットフォームの Red Hat Enterprise Linux をはじめ、仮想化の Red Hat Enterprise Virtualization、管理、ストレージ、サービス指向型アーキテクチャ (SOA) を含む JBoss Enterprise Middleware などの各種ソリューションにより、高品質かつ低コストのテクノロジーを提供しています。また、Red Hat は、世界各国のお客様にサポート、トレーニングおよびコンサルティングサービスを提供しています。

詳細につきましては、<http://www.redhat.com>をご覧ください。

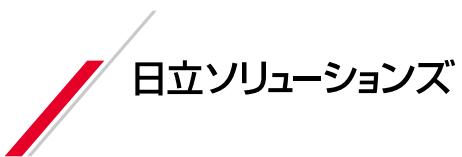
●レッドハット株式会社について

レッドハット株式会社は、米国ノースカロライナ州ラーレーに本社をおく、エンタープライズ Linux の世界的なディストリビューション Red Hat, Inc. の日本法人です。オープンソースを基盤として、組込み系からエンタープライズサーバまで対応する普遍的なプラットフォームとサービスを提供しています。

■ 将来の見通しに関する声明

このプレスリリースに含まれる表現は、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) が定める定義の範囲内で「将来の見通しに関する声明」に相当する場合があります。将来の見通しに関する声明は、特定の仮定に基づいて将来の出来事に対する現在の期待を表明したものであり、過去または現在の事実に直接関連しない声明を含んでいます。実際の結果は、そうした将来の見通しに関する声明で示されたものと実質的に異なる場合があります。それは、買収先の統合に関連するリスク、当社が効果的に競争できるかどうか、当社の知的所有権を適切に保護できるかどうか、サードパーティの知的所有権に関してライセンス侵害の主張がなされる可能性、データと情報のセキュリティ脆弱性に関連するリスク、当社の成長と国際業務を効果的に管理し、統制できるかどうか、訴訟がもたらす不利な結果、主要スタッフへの依存性、および当社の Form 10-Q に基づく最新の四半期報告（コピーは SEC の Web サイト <http://www.sec.gov> から入手可能）に含まれるその他の要因（「リスク要因」および「財務状態と営業成績に関する経営陣の議論と分析」の項に記載された要因など）といった、さまざまな重要な要因に左右されます。さらに、本プレスリリースに記載された将来の見通しに関する声明は、本プレスリリースの発行日現在の当社の見解であり、これらの見解は変更される場合があります。ただし、当社は将来のある時点でこれらの将来の見通しに関する声明を更新する場合もありますが、更新についていかなる義務も負うものではありません。これらの将来の見通しに関する声明は、本プレスリリースの発行日よりあとのいかなる時点における当社の見解も表すものではありません。

- ※ LINUX は米国及びその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。
- ※ RED HAT と Shadowman logo 、JBoss は、は米国およびそのほかの国において 登録された Red Hat, Inc. の商標です。
- ※ その他、記載されている会社及び製品の名称は、各社の商標または登録商標です。



● ソリューションに関するお問い合わせ先

株式会社 日立ソリューションズ

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

TEL : 0120-571-488

● 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社 日立ソリューションズ

CSR 統括本部 ブランド・コミュニケーション本部 広報・宣伝部

楳田、関口

E-mail : koho@hitachi-solutions.com

TEL : 03-5479-5013

レッドハット株式会社

マーケティング本部 広報担当

E-mail : pr-jp@redhat.com

TEL : 03-5798-8550

FAX : 03-5798-8599

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
